

第1回業績評価に関する国際会議

1st International Conference on Performance Measurement at Irvine, California

若井 亮太* 中嶋 康博*

By Ryota WAKAI and Yasuhiro NAKAJIMA

1. はじめに

2007年9月9日-12日、第1回業績評価に関する国際会議が米国カリフォルニア州オレンジ郡アーバインで開催された。なお、本会議は、第3回全米会議と同時開催であった。本稿では、その会議の様相を報告する。

2. 会議の概要

本会議は、TRB (TRANSPORTATION RESEARCH BOARD) の業績評価委員会 (Performance Measurement Committee)¹⁾ が主催で実施した。参加者は、主に各 DOT 交通行政担当者であり、他にイギリス、メキシコ、アジア各国等からあった。

会議時間は、8:30-17:00、または、8:30-21:00 と長丁場であったが、場所が Irvine ということもあり (バカンスの街であるため、ホテル以外はほとんど何もない)、会場は終始、議論の熱気に溢れていた。各セッションでは、各国における業績評価を実施するためのデータ収集、活用方法 (事業評価、計画、予測、情報提供など) 等の取組みが報告された (表-1 参照)。どの DOT でも業績評価自体が試行錯誤の段階であり、工夫をしながら実施している状況で、とりわけ、日本の取り組み状況が世界的にも進んでおり、特に注目されていた。

なお、発表で特に印象的であったのが、「住民への説明を分かりやすくすることが重要」という Doug MacDonald 氏の発表²⁾ であった (同氏の発表が長官賞受賞、サグ部等での渋滞現象を米と筒を利用し、分かりやすく説明: 写真-1 参照)。

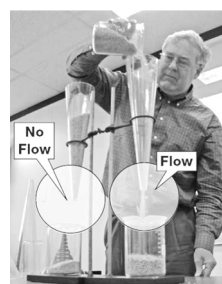
3. おわりに

我々は、ほとんどが米国人という会議に今回初め

て参加した。特に驚いたのが、各 DOT の交通担当者の会議への積極性であり (国民性の違いかもしれない)、彼らは、実務にどのように取り入れることが最も効果的かを熱心に聴衆、質問していたことが非常に印象深い会議であった。

表-1 9/11の会議スケジュール

【8:30 a.m. - 10:00 a.m. / Plenary Session】
・ Data / Tools
【10:00 a.m. - 10:15 a.m.】
・ Morning Break
【10:15 a.m. - noon / Breakout Sessions】
・ A: Visualization
・ B: Data as an Asset
・ C: Data Collection to Support Performance Measurement
・ D: Forecasting Performance
【Noon - 1:00 p.m. / Lunch】
【1:00 p.m. - 2:30 p.m. / Plenary Session】
・ Hot topics
【2:30 p.m. - 2:45 p.m.】
・ Afternoon Break
【2:45 p.m. - 4:45 p.m. / Breakout Sessions】
・ A: Sustainability / Economics
・ B: Performance Measurement and Evaluation of Tooling and Congestion Pricing Project System Benefits
・ C: Safety
・ D: Freight
【5:00 p.m. - / breakup】



・左:米粒を一気にいれると出口がふさがり、つまる。
 ・右:米粒を少しずつ入れると、出口でも流れる。
 ・つまり、ボトルネック解消には、需要の分散化 (平準化) が重要であることを室内実験で分かりやすく示している。

写真-1 分かりやすいプレゼンテーション事例²⁾

参考文献

- 1) <http://www.trb-performancemeasurement.org/>
- 2) <http://www.wsdot.wa.gov/traffic/congestion/rice/>

* 道路計画研究室